

第74回 浜大祭 配信ガイド

2024年6月17日(第1版)
浜大祭実行委員会 運営協議会
技術本部配信局

【本ガイドについて】

- このガイドは浜大祭で配信を検討される方に向けた案内です。
- 配信を少しでも用いた出展・出演を希望する団体や個人は、本ガイド及び同時に参照するよう示されたガイドに書かれている内容をよく理解した上で、出展・出演申込をしてください。
- ガイドの内容は変更される場合がありますので、最新の情報を得られるよう、浜大祭のSNSをよくご確認ください。
- 配信出展に参加する場合は必ず配信出展規約もご参照ください。

【お問い合わせ先】

- 本ガイドは浜大祭実行委員会の技術本部配信局が所管です。
- 配信出展に関するお問い合わせは、下記メールアドレスへ
webcast.hamadaisai@gmail.com
- 配信出展に関する資料は下記ページに公開します。
<https://team.hamadaisai.info/?p=259>

1 はじめに

1.1 実行委員会より

配信局から – 浜大祭の配信出展の存在意義について

「浜大祭の配信出展」は、コロナ禍の 2022 年(第 72 回)に誕生した新しい出展形態です。

もともとは感染拡大対策の一環として、安定した実施環境の確保と来場者の分散を目的にスタートした配信出展。実際にはその主目的とは別にプラスの要素があり、「海外留学中に浜大祭を楽しめた」「遠方の家族や友人が見てくれた」とのお声をいただきました。

コロナ禍から回復しつつある現在、私たちは「浜大祭の配信出展」の存在意義を「横浜市大の熱気を日本中・世界中に届ける」「場所を問わず参加できる浜大祭の実現」「デジタル社会における浜大祭のデジタルアーカイブの実現」として再定義し、コロナ禍で得た機会を元に新たな大学祭づくりとして活動を継続しています。

コロナ禍の最中に私たちが活発化させていた浜大祭のオンライン上での活動。これはコロナ禍から回復しつつある今必要ないのではないかと、そういったご意見もあります。しかし私たちはこの火を絶やすことなく、他の大学にはあまり見られない横浜市立大学独特の強みとして、大学祭の「世界へ・いつでも・どこでも化」に挑戦していきたい所存です。

充実した浜大祭を日本中に届けるには、あなたの参加が必要不可欠です。あなたの表現、みんなの表現を、浜大祭から日本中、そして世界へ。ぜひあなたも「浜大祭の配信出展」に参加し、オンラインの浜大祭を作り上げる一員になりましょう。

みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

浜大祭実行委員会 配信局

1.2 浜大祭におけるオンライン対応について

予備情報

浜大祭では、第 72 回より本格的にオンライン対応への検討を開始しました。その後も、機材や手法のアップデートは日々重ねております。そのため、対応の具体的な手法については変更される場合があります。最新の情報は浜大祭 SNS にてご確認ください。

2 配信(オンライン出展)手法の一覧

2.1 オンライン出展について

配信出展の定義

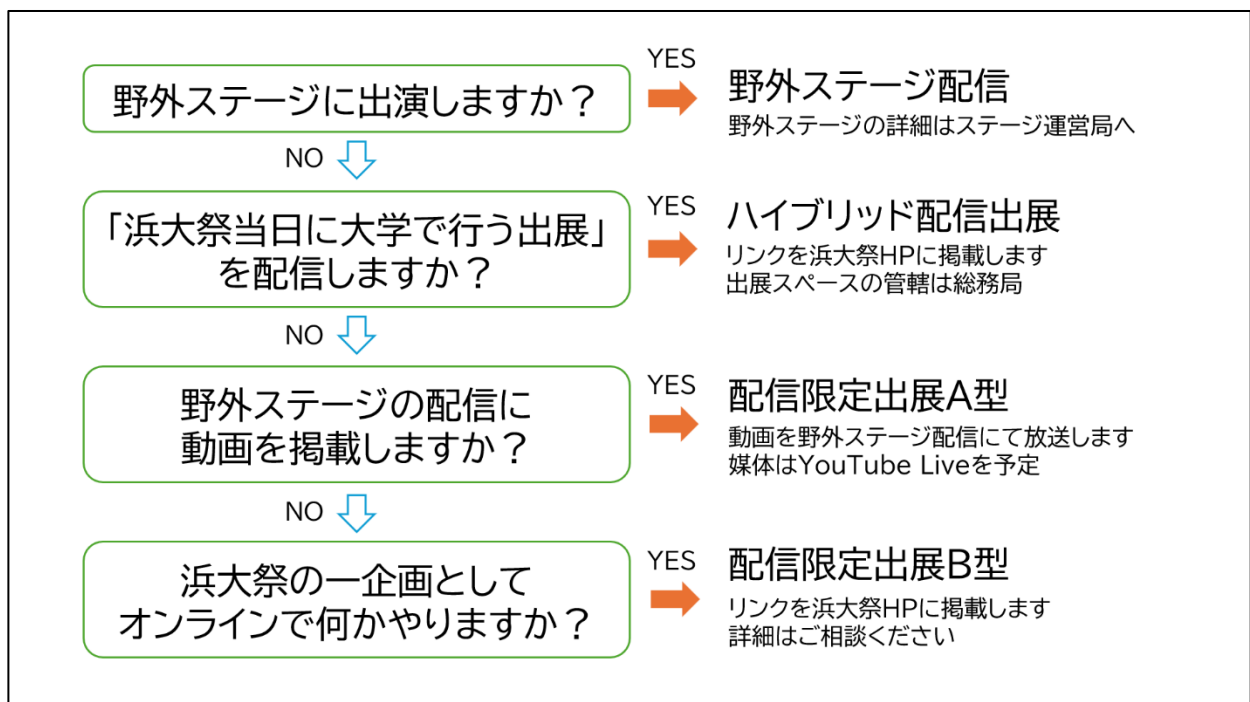
本委員会は、媒体を問わずネット上に配信する浜大祭の出展・出演・企画を、総じて配信出展として取り扱います。

配信主体について

本委員会は、浜大祭の公式媒体にて 2.2 に定める企画を配信します。
各団体の配信企画は、原則として各団体が配信主体として、配信作業を行ってください。

委員会で受け入れる配信出展の情報

受け入れを行う配信出展は下記の図の通りです。
ここに記載のないもので配信出展を希望される場合は個別にご相談ください。
なお、ハイブリッド出展における「浜大祭当日に大学で行う出展」の受け入れは総務局が管轄です。野外ステージの受け入れはステージ運営局が管轄です。配信局では両者のスペースの確保を行いません。



2.2 委員会が提供する配信出展スペース

浜大祭実行委員会では、下記の 2 手法にて配信出展の受け入れを行います。

野外ステージ配信

野外ステージでの出演内容をそのまま生配信します。
本配信への出演は、野外ステージ出演者に限ります。

幕間動画(配信限定出展 A 型 →P6)

野外ステージの入れ替え時間に動画を配信します。
動画は配信限定出展 A 型として受け入れを行います。

2.3 団体が利用可能な配信手法の例

下記の手法で行われる配信出展を、2.2 の委員会提供スペースを利用する配信出展のほかに受け入れます。

教室・屋外出展の配信(ハイブリッド配信出展)

実地出展を各団体の操作により配信することが可能です。
配信リンクは、HP の企画一覧にて追加料金不要で紹介を行うことができます。

当日教室を用いない配信(配信限定出展 B 型 →P6)

事前収録の動画を、浜大祭参加団体として公開することが可能です。
また、教室を用いずに大学外から生配信することも可能です。
動画の公開は、プレミアム公開または一般の公開どちらも可能です。

動画以外を中心とした配信限定の出展(配信限定出展 B 型 →P6)

SNS 上のハッシュタグを用いた投稿企画や、HP 上で展開する企画も実施が可能です。
作品公開として、Pixiv のような外部画像投稿サービスを用いて、リンクを集約した HP へのリンクを浜大祭 HP に掲載することも可能です。
但し、展示作品等を公開したり、企画を行ったりする SNS や HP 等のページは、各団体にてご準備ください。

2.4 利用を推奨する配信サービス一覧

2.3 の団体による配信出展を検討している方には、下記のサービスを利用することをお勧めしています。

YouTube またはニコニコ動画

事前収録の動画を流す場合、日本において二大動画配信サイトであると言っても過言ではない YouTube またはニコニコ動画を用いることを推奨します。

配信用のアカウントが必要ですので、余裕をもって準備してください。

YouTube Live またはニコニコ生放送

アプリや Web カメラから気軽な配信ができるほか、ビデオカメラやキャプチャーボード、スイッチャー、OBS のような設備を導入すれば、本格的な配信が可能です。

但し、他の媒体と比べて操作の専門性が高いため、利用方法を事前によく確認し、習得する必要があります。またこちらもアカウントが必要ですので、余裕をもって準備してください。

Zoom

双方向で参加者と出展者がやりとりをする場合、Zoom が最も取り扱いやすい媒体です。参加者に発言を求めたり、グループワークをおこなったりする討論会のような企画を行う場合は、Zoom が最適です。

配信を一方向的に行う場合であっても、普段の授業で操作には慣れているほか、通信も安定しており、一般的なPCで操作をすることが容易である点も利点です。

但し、リンクをインターネット上に公開することはリスクがあるため、事前にフォーム等で ID を送付するメールアドレスを収集することをお勧めします。

インスタライブ

配信限定の企画で主に用いるのにはお勧めしませんが、当日の現地出展ブースをインターネット上で紹介する形の配信においては、最も気軽で扱いやすいサービスです。

また双方向のやり取りもしやすいほか、個人アカウントでの配信も可能なため、自由度は高いとも言えます。

X(旧Twitter)

SNSや HP 上で企画や展覧会を行う場合、X(旧 Twitter)のハッシュタグを用いるのが手の一つです。

スレッド等も活用することができるほか、企画用のアカウントを作成して連続投稿したり、投票機能を用いてそれに応じた連動企画をしたりすることも可能です。

3 募集を行う配信のみの団体出展

3.1 配信のみの団体出展について

配信のみの団体出展の定義

浜大祭当日に実地空間で配信作業を行わず、完全オンラインで配信のみで企画を行う出展は、配信限定出展として受け入れます。

実地開催であり、来場者の受け入れを行っている出展を配信する場合は、本章で提示される配信限定出展には当てはまりません。

対応する所管局

配信限定出展の所管局は、技術本部配信局です。

3.2 A 型:委員会配信番組への動画掲載

野外ステージ出展の YouTube 上での配信などの委員会が運営する配信番組の幕間や、企画入替時間の合間に動画を放映する出展です。

長さは1分から10分程度を推奨しています。

継続15分以上の動画は、個別に配信局へご相談ください。

尚、別の形式で出展・出演する企画の紹介動画は、別途募集を行う場合があります。

3.3 B 型:当日教室を用いない配信限定企画

浜大祭 HP にリンクを掲載する以外は、本委員会から施設等の提供を受けない出展です。以下の例は、B 型に当てはまります。

- Zoom での討論会の申し込みリンクやレジューメへのリンクを、浜大祭 HP に掲載する
- YouTube でのプレミア公開や生配信のリンクを、浜大祭 HP に掲載する
- 展示をおこなっている外部サイトのリンクを、浜大祭 HP に掲載する

なお、別の形で出展を行っている団体で、当該出展の紹介ページ内でリンクを共有する場合は、B 型に当てはまりません。

B型は、原則として受け入れ団体・展示数の条件を設けない予定です。

3.4 その他の配信限定出展について

教室に来場者を入れず教室で運営を行う配信企画

教室に配信ブースを構え、一般の来場者を入れずに配信を行う出展です。
来場者を入れて行う教室企画を優先的に配置する予定ですので、人数により小規模な教室が割り当てられる、または受け入れを行わない場合があります。

3.5 出展料・提出保留金について

出展料

配信限定出展(A型/B型)・ハイブリッド配信・野外ステージ配信は出展料を徴収しません。
その他の配信限定出展については別途ご相談ください。

提出保留金

配信限定出展について、指定の期間までに動画や配信情報の詳細を提出することができない場合、一時金として提出保留金を出展物ごとに3,000円徴収します。
提出保留金は、別途設けられた最終提出締切(提出期日Ⅱ)までに動画や配信情報をご提出いただいた場合、全額を返金します。

3.6 配信限定出展の受け入れプロセスについて

全体の流れ

配信限定出展に出展を希望する団体・個人は、以下の手続きを行う必要があります。

手続き内容	締切
配信限定出展エントリーフォーム提出	随時(提出期日に間に合うよう余裕を持つこと)
出展許可の取得	随時
出展物(動画など)の提出	提出期日Ⅰ
提出保留金の納付	提出期日Ⅰ
出展物(動画など)の提出	提出期日Ⅱ (提出保留金納入団体のみ受入れ)

配信限定出展エントリーフォーム

配信限定出展のエントリーフォームは、配信限定出展で出展しようとする団体や個人の情報及び出展内容をご提出いただきます。

申請フォーム URL は以下の通りです。

<https://forms.gle/yptLZZozyw2a2u4R6>

パンフレット掲載の関係などから以下の 3 つの申請目安を設けています。

なるべく申請目安日の前に余裕をもって申請してください。

第一次申請目安:2024 年 9 月 10 日(提出保留金を納入せず提出できる)

第二次申請目安:2024 年 10 月 1 日(パンフレットに載る)

第三次申請目安:2024 年 10 月 20 日(パンフレットに載らずとも配信に間に合う)

審査に一週間以上かかる見込みですので、時間に余裕を持ってご提出ください。

出展許可の取得

配信限定出展エントリーフォームをご提出いただいた方を対象に、実行委員会で内容の審査を行います。

審査の結果、出展を認める場合は出展物ごとに出席許可を行います。

審査は団体・個人ごとではなく出展物ごとに行うため、同団体から複数の出展物があった場合、審査の結果により一部の出展が認められない場合があります。

出展物の提出・提出保留金の納付

出席許可を取得した団体は、別途出展物の提出手法をご案内します。

配信限定出展 A 型の場合は、幕間等に流す動画を期日までにご提出ください。

配信限定出展 B 型の場合は、リンク等の各種情報を期日までにご提出ください。

提出期日は原則として提出期日 I としますが、提出期日 I までに提出保留金を納付した団体・個人の出展物については、提出期日 II を提出期日とします。

提出保留金は出展物ごとに必要です。

提出期日 I :2024 年 9 月 15 日

提出期日 II :2024 年 10 月 20 日

3.7 配信出展受入基準表

配信限定出展の審査は、配信出展受入基準表を基に行います。

配信出展受入基準表は浜大祭実行委員会 HP または SNS にて掲載します。

<https://team.hamadaisai.info/?p=259>

4 配信に関する情報

4.1 委員会によるサポート

技術的サポートについて

技術本部配信局では、配信を行うすべての出展団体を対象として、配信マニュアルの公開を検討していますが、他業務や本来の配信業務の進行の如何により、作成しない場合があります。

団体内で配信手法について疑問点がありましたら、配信局へお問い合わせください。可能な範囲で対応いたします。但し、なるべくインターネット検索等自力で調べられる範囲を調べたうえで、お問い合わせください。

技術的サポートについては、追加の手数料は不要です。

操作指導サポートについて

技術本部配信局では、技術的サポートの一環として、操作指導のサポートを可能な範囲で行う予定です。但し、実施を約束するものではありません。

新型コロナウイルス感染症対策、及び活動申請の関係で、操作指導サポートは原則としてオンライン媒体での対応となります。対面でのサポートも受け付けておりますが、担当委員のスケジュールに合わない場合は、サポートを行えません。

操作人員サポートについて

本委員会は、各団体主体の配信について、操作人員のサポートを原則として行いません。動画編集等の委託についても、委員会としては原則として受託しません。

当日に配信を行うことができない緊急事態が発生した場合、対応ができる場合は復旧操作を行うことができる場合がありますが、こちらもサポートの実施及び復旧の保証はできません。

機材サポートについて

本委員会は、各団体主体の配信について、機材サポートを原則として行いません。

但し、委員会による野外ステージの配信については、本委員会が機材を用意します。

尚、今後機材の貸し出しを行う可能性もありますが、手数料を徴収する場合があります。

4.2 配信テストについて

当日・それ以前の配信テストのお願い

生配信型の出展を行う団体は、必ず配信のテストを行ってください。

以下に、配信テストの手法の例を示します。

[YouTube Live・プレミア公開]

- ・プレ企画を自宅や普段の活動で担当者が配信
- ・予告動画をプレミア公開

[Zoom]

- ・作成した部屋の待機室が有効か、他の人に入室してもらい確認
- ・画面共有をする人が全員行えるか、当日入場開始前に確認

4.3 浜大祭当日の通信環境について

無線 LAN の混雑について

浜大祭当日は、多くの横浜市大生の来場を見込むため、学内 Wi-Fi の混雑が予想されます。可能であれば、有線 LAN やポケット Wi-Fi、テザリングなど、学内 Wi-Fi 以外の手段でインターネットに接続することをお勧めします。

有線 LAN の接続について

学内の有線 LAN を利用するには、無線 LAN と同様に端末登録が必要です。

また、昨今販売されている薄型ノートPCの多くは、有線LANに対応していません。

有線LANを利用する場合は、Let's note など、接続口があるPCを利用するか、アダプタを別途購入し、接続してください。

4.4 著作権について

著作権等の権利処理

著作権など、検討や配慮が必要な権利の処理については、配信主体者が処理してください。委員会が配信を行うものについては、処理作業は不要です。

詳しくは配信マニュアルに記述される予定ですが、各自で調べることをお勧めします。

5 配信を行う出展の所管部署

配信出展に関するお問い合わせは、すべて技術本部配信局で承ります。

webcast.hamadaisai@gmail.com

配信出展に関する資料は下記のページで公開します。

<https://team.hamadaisai.info/?p=259>

野外ステージに関する事項は企画本部ステージ運営局の所管となります。

その他の出展に関する問い合わせ先は、各種出展ガイド等を参照してください。